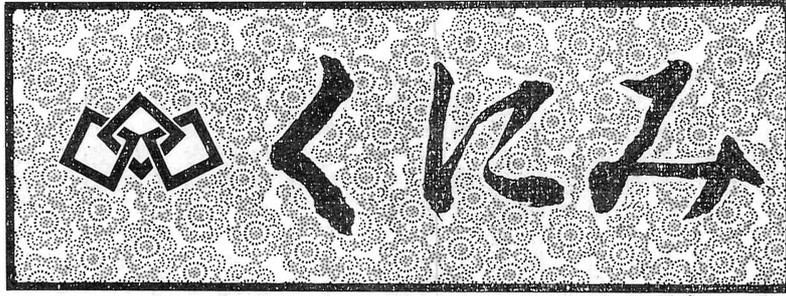


人口と世帯数
 男 5.781人
 女 6.205人
 計 11.986人
 世帯数 2.633世帯
 46.6.1現在



よく見、よく聞き、よく考えて投票しましょう

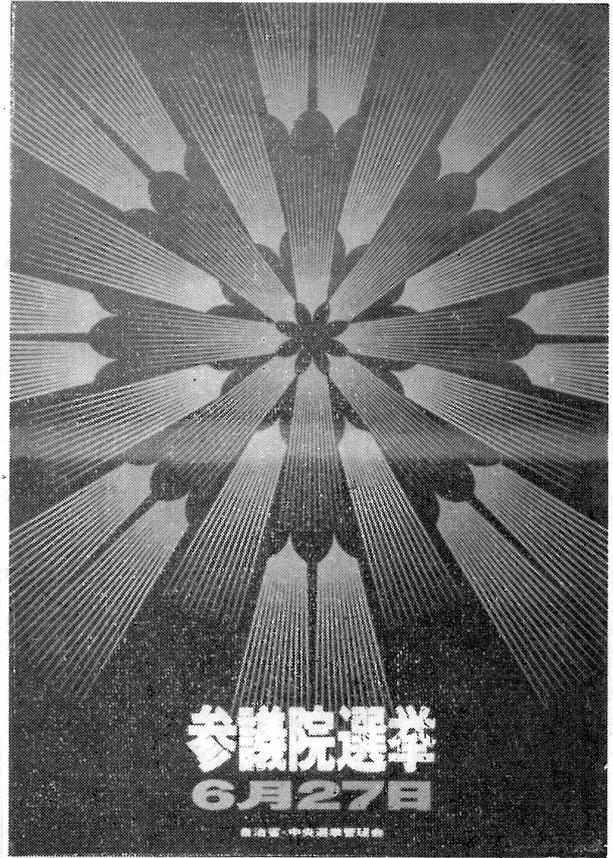
(福島地方区選挙)

政見放送と立会演説会の放送日程

- * 経歴放送 ラジオ第1 6月16日(水)午前11時55分～
- * 立会演説会 総合テレビ 6月17日(木)午後1時25分～3時
- * 経歴放送 ラジオ第1 6月18日(金)午後6時50分～
- * 経歴政見放送総合テレビ 6月19日(土)午後7時30分～
- * 経歴放送 ラジオ第1 6月22日(火)午前11時55分～
- * 経歴政見放送ラジオ第1 6月23日(水)午前6時10分～
- * 経歴政見放送総合テレビ 6月24日(木)午前7時40分～
- * 経歴放送 ラジオ第1 6月24日(木)午後6時50分～



は誠に感謝の極みであり厚く感謝申し上げます。
 ご承知のように浅学非才の私、不肖者でございますが、先輩ならびに同僚議員諸氏のご指導とご協力によりまして、この重責を果したいと考えておりますのでよろしくお願い申し上げます。わが町におきましても、東北縦貫高速自動車道建設に関連するところの、サービスイリアの設置に伴う用地の買収や保障の問題、水



就任の

ごあいさつ

国見町議会議長 東海林 一郎

この度稲作付減反に伴う転作の問題、更にこの自動車道の完成による関東経済圏への参加によって必然的に起こる農業を含めたあらゆる分野の経済構造の改変等、当面する重要な問題が山積している時期に、町民各位の信任をうけて町政壇上に送られた私どもは自己の任務を深く肝に銘じ、終始一貫、善意をもって事にあたり、

議会運営は、不偏不党、公平無私、の立場を堅持し、常に会議を正しく、明るい方向に推進し、議会の威信と尊厳とを護持して行く覚悟でございます。

この重責は町民各位の深い理解と、絶大なるご協力によらなければ全うすることができないのでありまして、今後、より一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

ここに皆様のご期待にそい得ますよう微力の限りを尽くして職務完遂に邁進することをお誓い申し上げます。長就任のごあいさつといたします。

川をきれいに

わたしも、あなたも

川にゴミはすてません

町内を流れる川という川みんなで見なおして見てください。洗剤のカラ、ナイロンの袋、セトカケ、ビンその他もろもろで一ぱいです。みんなで協力し、昔の姿に戻そうではありませんか。

阿武隈川の清掃が実施されます。建設省で、当町内を流れる阿武隈川に捨てられた、ゴミの清掃、処理を六月か

ら七月にかけて実施することになり当町でも協力することにいたしました。

この際に地区毎に、川の清掃を実施しましょう。なお、川にごみを捨てると処罰されることをご存知でしょうか？

ゴミ捨の現場を見た方はお互いに注意するか、又は、役場建設課に通報してください。

【福島県芸術祭】

(三曲の部)

国見町

で開催決定

福島県芸術祭は、すぐれた芸術文化の公演発表を促して芸術の創造と進展に寄与し、広く県民に鑑賞の機会を提供し、さらに文化団体等の活動を助長するを目的として、毎年県内各地で開催されております。それだけに県民からは多大の関心と期待がもたれておるわけです。

今年の第十回県芸術祭は九月から十一月までの間に音楽、演劇、美術、文学、舞踊、生活芸術の各部別に、芸術の絵巻物が県北の各地でくりひろげられます。その中音楽の部の三曲合奏が当国見町福祉センターで開催されることになりました。期日等は、追って決定されますが、十月三十一日が一応予定されております。いづれにしろこの催が成功するよう町民の皆様の御協力をお願いいたします。そして三曲合奏を通して、芸術味を心ゆくまで味わわれるよう急願いたします。なお開催要項などくわしく追ってお知らせいたします。

国見町の古文書

(其の二)

古文書の中で特にめぼしいものから紹介してみよう。鳥取、泉田地区にあった国有林下戻し問題は、山と深い関係のある村らしい姿を示しております。衆知のように、地租改正のとき続いて、山林原野の地租改正が行なわれ、同時にそれまで町村の自由な使用にまかされておった山野は、その大部分が官有林野に編入されてしまいます。その結果当然にも各地で官有地編入反対運動がおこりました。政府でもそれを放置しておくわけにもゆかず再審査をして民有地に引戻すこともあり得るといふ態度に出ました。しかし、その審査基準は大変きびしいものであったので、なかなか簡単に通るものではなかった。鳥取、泉田、小坂の三地区ともに民有地へ下戻す申請を出しました。しかし、結果は三地区共に下戻しが認められませんでした。特に泉田地区は申請が却下されてもそれだけでは引さがらず次の手段として訴訟に持込んでおります。明治四十年代の価格で五〇〇円の弁護料を支払って、わざわざ東京の恐らくその道の専門家であつたらうと思われる弁護士を頼んで行なっております。結果についての資料はありませんのでよく分かりませんが、恐

茶々を楽しみましょう

公民館では次の要領で、茶道教室を開設いたします。忙しい毎日、静かに茶々のひとときを楽しんでみたいかがでしうか。

- 一、期日 毎月二回
- 二、場所 町民福祉センター
- 三、募集人員 三十名
- 四、先生 裏千家 三瓶宗雲先生
- 四、経費 月三〇〇円〜六〇〇円
- 六、申込み期限と第一回打ち合わせ 六月二十六日午後一時半 町民福祉センター

※その他詳しいことは公民館にお問い合わせください

らくうまくゆかなかつたのではないかと考えられます。このように政府は、山林を強制的に官林に編入することによって、農民の生活に直結した山野を取り上げてまで国家収入の増大をはかったのです。

次に同じく山の問題では山境の争いとか入会権の争いが絶えず各村の間にあつたことが記されてあります。例えば泉田と北半田との間の争いなどは、相当に根深いものがあつたようです。特に入会権の場合は、お互いに古い時代からの権利に基づいて入会権を主張しているの、実際は証拠がはつきりしている場合はむしろ少なく、その辺が不明確になつてしまつているのでお互いに水掛論になつてい

おめでとうございませす

(五月中出生届をされた方 敬称略す)

出生日	氏名	名と続柄親	住所
23	佐藤博英	敏夫の長男	小坂 木八丁38
20	高橋信江	信昭の長女	山崎 北古館8
19	佐野貴子	守の長女	小坂 東35
14	後藤亮子	義春の2女	小坂 水門10
14	浅野かおり	武志の3女	山崎 川原21
12	佐藤久美子	喜一の2女	大木戸明野原1
7	菊地真弓	進の長女	藤田日渡三15の2
3	鈴木淳也	捷治の2男	山崎 南古館5
2	遠藤寿之	辰幸の長男	藤田 堤下12
1	赤間宏	良昭の3男	大木戸高橋4
30	阿部良江	和子の長女	藤田 太子堂15
29	半沢ひとみ	博の長女	大木戸馬場2の1
25	本田美代子	善市の3女	内谷 西堂39
2	松浦智志	英夫の長男	山崎太子堂9の7

統計調査に

ご協力ください

石母田、小坂でそれぞれ百町歩以上の払下げを受けております。これはいつまで続いたのかは分かりませんが、明治二十年代はこのようにしておつたのです。

7月1日に、就業構造基本調査が行なわれます。

この調査は、わが国の人口の、就業に関する基本的な構造を、全国および地域的に明らかにし、経済計画の雇用、失業対策など、各種施策の基礎資料となるもの

古文書合わせて八〇〇〇点

昨年来、各区長さん所管にかかる古文書を調べ、そのもくろくを作っていた町史編纂室では、この程その総数をとりまとめた。その結果によれば、十六区のうち皆無といわれる一区を除き十五区分を合わせるとその数八千点に達し、調べ残しのぶんも合せば一万点に達すると思われる。中には万治、寛文など三百余年

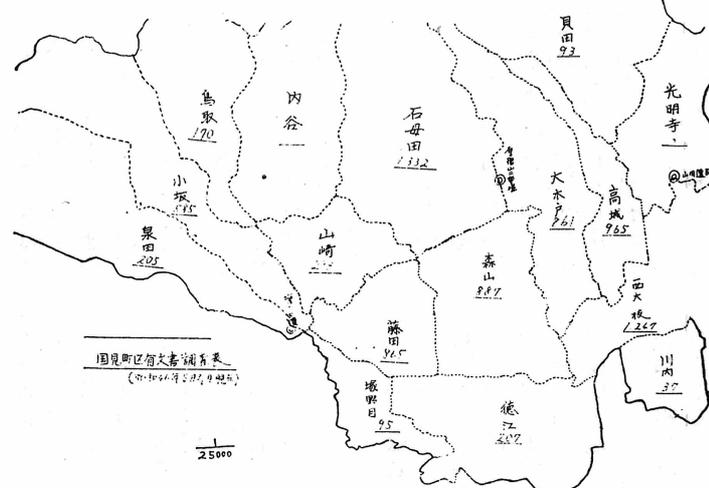
では更に調べ残しの分や一般民家に伝わるもの、明治以後のいわゆる近現代のものなどもっと詳しく調べ上げ、逐次解説をし、筆耕を進め資料編の材料とする計画である。

古文書調査表 (46.5.31現在)

区	名	古文書数
小坂	坂田	585
鳥取	取田	205
藤母	母田	170
石山	山崎	865
森野	野崎	1,332
塚大	大野	293
高光明	明戸	887
貝田	田城	207
西川	川枝	95
計	計	861
		965
		3
		93
		1,247
		37
		7,845

民謡の練習を二本立てに

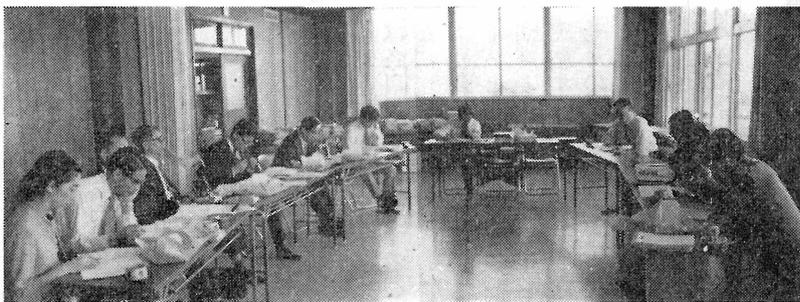
一、誰でもやれる民謡
毎週水曜日 会費月一〇〇円
二、尺八伴奏での練習
毎月第一、二木曜日 会費月三〇〇円
指導は伊達崎の小野先生
会場 町民福祉センター
時間 夜七時半～九時半
国見町民謡研究会



この民謡をご存じの方ご連絡ください
トロトロと藤田の夢の現世は 男女
の仲と仲 固い約束石母田に 思い
積りて山崎に 内谷きびしく恋路が
まさる 人のうわさも鳥取に 逢え
ぬ小坂をうち越えて 泉田ままか
なじかしや ようやく忍んで北半田
谷地代の末まで互に固く 契る塚野
目身の徳江 早く相伊達 崎からき
めてそうて嬉しや 花の宴
(石母田松浦さんの著書信達風土記巻
二より)ご存知の方は国見町民謡研究
会 野村隆一まで(有線三八六五)

町史編集専門委員会開く

国見町町史編纂室では、こんどの町史編纂にあたって直接執筆を依頼する福大教授小林清治先生をはじめ十二名の専門委員を招き、基本的な打合せを開いた。六月二日午前九時半福祉センター第一会議室で、まず関口町長のあいさつ、岩谷教育長の基本方針の説明の後、鈴木事務局長から古文書や遺跡の発掘調査などこ



れまでの経過報告を行ない次に県北中渡部教諭(事務局職員)から今後の事業計画について説明をした。つづいて福大小林教授司会のもとに資料編、通史編の内

容を些細に検討し、もくろくを吟味した。さすが県下有数のベテランたちだけあってその討議は火花を散らし、午後四時過ぎまで続けられた。尚議題は今後の作業の進め方に及び、仕事の分担なども決定した。

郷土史研究会を作ろう!

《会員大募集》

「わがふるさとを愛せ」の目の前におめみえすることよくいわれます。「愛すること」はまず「知る」とから始まります。近頃、わが国見町には「町史をつくって後世にのこす」という仕事が始められ、関係者の手によって古文書の調査とか、遺跡の発掘とか、いろいろの準備が進められております。そのうちまもなくくりっばな町史がわれわれの手に進められて、この仕事にもっともつと関心をもち、できるだけ専門

お悔み申し上げます

(五月中に亡くなられた方 敬称略す)

死亡日	氏名	年齢	住所
5, 1	遠藤 甫	47	光明寺山田15
3	吾妻 フデ	82	小坂 小坂21
10	武田 トメ	79	鳥取 堰下20の1
17	大槻 兼吉	71	塚野目南寺田6
17	五十嵐セン	78	山崎 館東4
21	佐藤 正人	2	石母田国見山下4の5
21	本田 国松	71	鳥取 沼田下16
21	齋藤 忠一	75	藤田 天王畑一、24

家をお助けし、係員をはげまして、よりよいものを作ってもらいたい。それには、町民一人ひとりがもっと町の歴史に関心をもち、これを理解しようと努力することが肝要です。もちろん歴史の学者や専門家になれというわけではありません。少なくとも「わが家」「わが部落」のことを知り、進んでは「わが町」のことを知りたいものです。こうすることによってわが国見町の歴史を理解し、やがて町史発行のあかつきには、大いにこれを読み、これを利用することができると思われます。

- 二、会員と会費
 本会の趣旨に賛同する一般町民で入会を希望するものを会員とする。会員は年三〇〇円の会費を納める。
- 三、役員と運営
 会長以下の役員を設け、役員は町史編纂室と連携をとりながら、民主的な運営を図る。
- 四、入会と発会
 入会希望者は、それぞれ方部の発起人に、会費を添えて申込む。(七月十日まで)七月末日をメドに結成総会を開く。
- 五、発起人(順序不同)
 佐藤善次郎 小野寺省二
 紺野 忠蔵 目黒久太郎
 朽木 松吉 野村 隆一
 菅野 正明 後藤 清
 早田 盛 奥山 亀一
 奥山福太郎 佐久間岩吉
 藤田 勝衛 五十嵐常次郎
 高橋 外記 浅野 利一
 吉田 栄作 高木 幸作
 松浦 義男 松浦権治郎



厚樫山で
 あおぞら教室
 五月二十二日、大木

明治学級だより

(1) 五月二十一日あおぞら教室で厚樫山の史跡をたずねることに
 (2) 福島県文化センターで開かれていた「地球展」

役員会で具体案を！

(3) 社会見学では日帰りコースとして白河方面、一泊コースとして浜の旅を実施すること。浜の旅は七月の六、七日に行う。その具体案別項のとおり決定。日帰りコースについては期日未定。
 (4) 堰下古墳の発掘調査が五月二十二日から三日間行われるから希望者はなるべく見学すること。

- | | |
|--------|-------|
| 朝内 宗光 | 大津 利一 |
| 広居 栄之助 | 佐藤 勘吉 |
| 吉田 嘉蔵 | 斎藤 尚信 |
| 佐藤 新七 | 阿部 尚信 |
| 市郎 直次 | 阿部 尚信 |
| 佐野 市郎 | 阿部 尚信 |
| 菊地 唯七 | 高橋 勇記 |
| 松浦喜一郎 | 阿部 強 |
| 菊地 久志 | 斎藤 太郎 |
| 大沼 西治 | 星野庄之助 |
| 渋谷 貞一 | 志村 重次 |
| 八島 実 | 佐藤喜二郎 |
| 大浪 政吉 | 佐藤 豊太 |
| 鈴木林次郎 | 井砂 由三 |
| 村上 鉄男 | 遠藤 喜平 |

「浜の旅」へ

どうぞ！

昨年から楽しみにしていた一泊旅行がいよいよ決った。年令と健康を考慮してあまり無理をせず、しかもレジャーブームに振りまわされる観光第一的な旅行をさげ、あくまでも社会見学の名にふさわしいプランであるので、明治学級の皆さまには心から歓迎されるものと思ふ。しかし、なんといっても

- 二日かかりのバス旅行は、高令者にとっては難行であるかも知れないので、決して無理をせず、近く計画される「一日コース」の方に参加していただきたい。要項は次のとおり
- 一、期日 七月六日～七日
- 二、コース
 藤田(6時30分発)→福島一郡山→平→勿来→五浦→小名浜→塩屋崎(泊)→久之浜→広野→大熊→相馬→霊山→藤田(6時着)
- 三、主な見学箇所
 白水阿弥陀堂
 勿来県立公園(勿来関跡)
 五浦海岸
 小名浜港(三崎公園)
 塩屋崎灯台・国民宿舎
 沼内弁天(天然記念物うなぎ生息地)
 波立海岸(波立薬師)
 広野経営伝習農場
 大熊原子力発電所
 相馬市(松川浦・相馬港)
- 四、会費 三五〇〇円
- 五、申込み 申込み金一、〇〇〇円を添えて部落役員に申込む。部落役員は方部役員に、方部役員は事務局に報告する。